SAKAImed

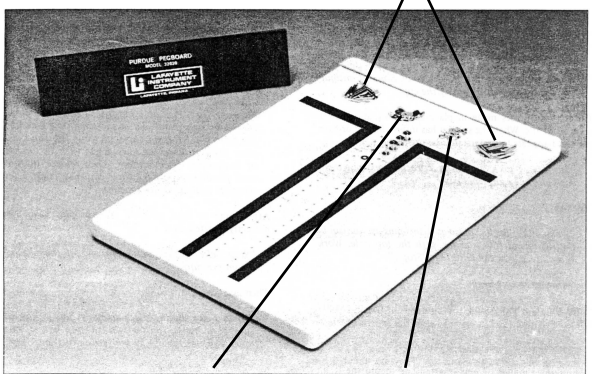
パーデューペグボード

A929-1

検 査 の 手 引

パーデューペグボードは、パーデュー大学工業心理学者ジョセフ・ティフィン（Joseph Tiffin）博士によって 1948 年に開発された検査です。

◆テストの手順 …… ティフィン（1948 年）



パーデューペグボードの構成は、ピン・カラー・ワッシャーからなり、これらはボード上辺の４つの皿に入っています。テストされる人物は、通常の高さのテーブル（約 76 ㎝）に楽に座ります。

パーデューペグボードは、被検者の真正面に置き、皿の列が最も遠くなるようにします。右端と左端の皿には各々25 個のピンを入れます。中央右側の皿には 20 個のカラーを入れ、中央左側の皿には 40 個のワッシャーを入れます。（図参照）。

検査者は、このテストをよく理解していなければなりません。又、様々な仕事をデモできるようにならなくてはいけません。以下の説明は、被検者 1 人用のものであり、グループの場合には適切に追加していかねばなりません。又、右手が利き手と仮定しています。もし左手が利き手の場合は、被検者は左手からテストを開始し、その左手のスコアーを標準表の右手欄に記入します。又、説明もその様に変更します。患側がある場合は、健側からはじめて下さい。

被検者が座り、開始の準備ができたら、以下の様に言います。

『このテストは、あなたの手でどれだけ早く、正確に仕事ができるかを見るテストです。テストの各部分を始める前に、何を行なうかの指示があります。それから、練習する機会が与えられます。何を行なうのか、正確に理解して下さい。』

【右手（利き手）】 検査者は各テストの前に、説明しながらデモンストレーションを行います。

『右側の皿から､右手でピンを 1 本つまみあげて､右側の最上段の穴からピンを入れていきます。（デモに使用したピンは、そのままにしておきます。）さて、ここで、2、3 本練習して下さい。テスト中にピンを落としたら、拾わずに皿から次のピンをつまんで、テストを続けて下さい。』

ピンを入れる穴を間違えた場合は、訂正して下さい。又、被検者からのどんな質問にも答えて下さい。被検者が、3～4 本のピンを入れて手順が理解できた様子でしたら、次の様に指導します。

『やめて、練習で使ったピンを元の右側の皿に戻して下さい。』

次に続けて、

『私が「始め」と言ったら、右側の列にできるだけ多くのピンを入れて下さい。最上段の穴から始めます。私が、「止め」というまでは、出来る限り早く作業して下さい。』

『用意、始め！』

「始め」と言ってから、時間を計ります。正確に 30 秒後に、

『止め！』と、言います。

差し込んだピンの数を数えて、右手スコアーを記録します。これが、被検者が右手で行なったピンの数です。ピンはそのまま穴に残して下さい。

【左手】　（左手の手順は、右手のテストのものと同じです。ここでは、より分かり易くするために繰り返します。）

『左側の皿から､左手でピンを 1 本つまみ上げて､左側の最上段の穴からピンを入れていきます。さて、ここで、2、3 本練習して下さい。』

ピンを入れる穴を間違えた場合は、訂正して下さい。又、被検者からのどんな質問にも答えて下さい。被検者が、3～4 本のピンを入れて手順が理解した様でしたら、次の様に指導します。

『やめて、練習で使ったピンを元の左側の皿に戻して下さい。』

次に続けて、

『私が「始め」と言ったら、左側の列にできるだけ多くのピンを入れて下さい。最上段の穴から始めます。私が「止め」と言うまでは、出来る限り早く作業して下さい。』

『用意、始め！』

「始め」と言ってから、時間を計ります。正確に 30 秒後に、

『止め！』と、言います。

差し込んだピンの数を数えて、左手スコアーを記録します。これが、被検者が左手で行なったピンの数です。右手と左手のテストが完了したら、ピン全部を所定の皿へ戻します。

【両手】　このテストは、両手を一緒に使って行なうテストです。次の様に言って、開始して下さい。

『テストのこの部分では、同時に両手を使っても構いません。右手で右側の皿からピンを 1 本つまみ上げ、同時に左手で左側の皿からピンを 1 本つまみ上げて両方の最上段の穴からピンを入れていきます。（デモを行ないます。デモに使ったピンは元に戻します。）ここで、2、3 本練習して下さい。』

練習ピンが、3～4 組正しく置かれたら、次の様に指導します。

『やめて、練習で使ったピンを元の皿に戻して下さい。』

次に続けて、

『私が「始め」と言ったら、両手で、できるだけ多くのピンを並べて入れて下さい。両側の最上段の穴から始めます。私が「止め」と言うまで、できる限り早く作業して下さい。』

『用意、始め！』

「始め」と言ってから、時間を計ります。正確に 30 秒後に、

『止め！』と、言います。

差し込んだピンの組数を数えて、スコアーを記入します。テストが完了したら、ピン全部を所定の皿へ戻します。

【右手＋左手＋両手（R＋L＋B）】

このスコアーは、これまで行なった上記テストスコアーを合わせて得られます。右手で行なったピンの数＋左手で行なったピンの数＋両手で行なったピンの組数の合計です。ここで覚えておいていなくてはならないことは、両手スコアーを加えるときに、ピンの組数を加えるという事です。両手で並べたピンの合計数ではありません。

最初の 3 回のテストのスコアーを合計したら、（R＋L＋B）のところに合計を記入します。両手スコアーが記録された後、すぐにアセンブリーテストを行ないます。

【アセンブリー】

このテストは、ピンとカラーとワッシャーの混合からなります。次の様に手順のデモンストレーションを行ないます。

『右手で右側の皿からピンを 1 本つまみ上げます。右側の最上段の穴にピンを入れながら、ワッシャーを左手で 1 つ、つまみ上げます。ピンを入れたら、すぐに、ピンの上からワッシャーを落とします。ワッシャーをピンの上から落としている間に、右手でカラーを 1 つ、つまみ上げます。カラーをピンの上から落としている間に、左手でもう 1 つワッシャーをつまみ上げ、カラーの上から落とします。これで最初のアセンブリーが完了します。

ピン、ワッシャー、カラー、ワッシャーの構成です。最初のアセンブリーの最後のワッシャーを左手で入れている間に、右手でピンを 1 本つまみ上げて、2 回目のアセンブリーを開始して下さい。このピンを次の穴に入れ、左手でワッシャーを落とします。という様に続けて、2 回目のアセンブリーを終了します。さあ、2、3 回アセンブリーの練習をしましょう。』

このテストで指導するに当たり、強調する点は、常に両手が動いている、と言う事です。片手でピン、片手でワッシャー、片手でカラーという様に。

もし必要なら、被検者が、この交互手順を完全に理解した事を確かめるために、テストを開始する前に、4～5 回完全なアセンブリー（ピン・ワッシャー・カラー・ワッシャー）を行なって下さい。被検者は、同時に両手を動かしていなければなりません。

これをおこたった場合には、検査者は更に指導を行なって下さい。

練習アセンブリーが終了したら、次の様に言います、

『やめて、ピン・カラー・ワッシャーを所定の皿に戻して下さい。』

次に指示します、

『私が「始め」と言ったら、出来るだけ多くのアセンブリーを作って下さい。右側最上段の穴から始めて下さい。私が「止め」と言うまで、出来るだけ早く作業して下さい。』

『用意、始め！』

「始め」と言ってから、時間を計ります。正確に 1 分間後に、

『止め！』と、言います。

アセンブリーのできたパーツの数を数えて、アセンブリースコアーに記入します。これが 1 分間のテスト時間に行なわれたアセンブリーパーツの数です。もし、8 つの完全なパーツができたら、スコアーは 32（4×8＝32）です。もし、6 つの完全なアセンブリーができ、7 つ目のアセンブリーのピンと最初のワッシャーが、1 分間の終了時にできていたなら、スコアーは、（4×6）＋2＝26 となります。

アセンブリースコアーが記録され、ピン．カラー・ワッシャーを所定の皿に戻したら、テストのコースは完了です。

パーデューペグボード　記録用紙

被検者情報

名前:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　利き手:　右　・　左

検査理由:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

検査者:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　検査日:＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

検査結果記入欄

	右手	左手	両手	右+左+両手	アセンブリー
1 回目					
2 回目					
3 回目					
平均					
備考 1					
備考 2					

職業とテストの種類をクロスさせた平均スコアーの一覧表

職業	右手	左手	両手	右+左+両手	アセンブリー
組み立て作業を行う男女(N-146)	17.86	16.60	14.38	48.81	43.58
一般工場作業を行う男女	17.15	16.01	13.79	46.76	39.30
製造作業を行う男女	17.94	16.81	14.10	48.85	40.67
電子製品の製造作業をする女性	18.47	16.77	14.53	49.84	43.76
時間単位で製造作業をする女性	18.02	16.81	14.34	49.14	38.08
時間単位で製造作業をする男性	16.45	16.31	13.37	46.11	36.89
メンテナンスサービスをする男性	15.49	15.25	12.31	43.04	38.71
ミシン操作を行う女性（3回の合計）	55.20	51.78	44.03	151.09	133.41